

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回守谷市立学校給食センター運営委員会			
開催日時	令和3年11月4日(木) 開会：午後2時 閉会：午後2時48分			
開催場所	守谷市役所 全員協議会室			
事務局(担当課)	学校給食センター			
出席者	委員	永瀬委員長, 小田倉委員, 岩瀬委員, 鈴木委員, 越智委員, 須賀委員, 豊谷委員, 山下委員, 吉田委員, 寺田委員, 樋口委員, 岡田委員, 小林委員, 古谷委員 <div style="text-align: right;">出席14名/18名</div>		
	事務局	町田教育長, 宇田野教育部長, 坂給食センター所長, 中尾係長, 影山管理栄養士ほか栄養教諭3人(寺田, 齋藤, 柳田) 以上8人		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 3名
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 委員及び職員紹介 5 協議事項 (1) 学校給食センター事業について(報告) ① 昨年度事業概要について ② 改築事業について (2) アレルギー対応について (3) 給食食材の放射性物質の測定について (4) 給食費について (5) その他 6 閉 会			
確 定 年 月 日	会 議 録 署 名			
令和3年12月16日	委員長	永瀬 宗重		

## 審 議 経 過

### 1 開 会坂給食センター所長：

坂給食センター所長：皆様こんにちは、本日は学校給食センター運営委員会へご出席いただきましてありがとうございます。

本日、14名の委員の皆様にご出席いただいております。学校給食センター運営規則第3条の規定の過半数を超えておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。

また、本日、3名の傍聴の方がいらっしゃることをあわせてご報告いたします。

それでは、ただ今から令和3年度第1回学校給食センター運営委員会を始めさせていただきます。

なお、委員の皆様にご協力のお願ひですが、最近では新型コロナウイルスの感染者が減ってきておりますが、まだまだわかりませんので、感染防止の観点から、できるだけ短時間の会議としたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。会議時間の目安は概ね1時間以内としたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

### 2 委嘱状交付

坂給食センター所長：まず、本年度から新しく委員になられた方への委嘱状の交付でございます。

本来でありましたら、教育長から委嘱状をお受けしていただきたいところですが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、申し訳ありませんが、配布をもって委嘱状の交付とさせていただきたいと思ひます。

続きまして、永瀬委員長からご挨拶をお願いします。

### 3 あいさつ

永瀬委員長：ちょっと声の調子が悪くて申し訳ありません。ただ今、短めにというお話がありますが、少しだけ雑談をさせてください。といいますのは、コロナウイルスですが、どうなっちゃったんでしょうね。個人的な見解ですが、ウイルスが自滅するような変異をしたのかもしれない。ワクチンの接種率が上がったとか、マスクをしているとか、それだけでこの異様な減少を説明できる範囲ではないと思ひます。ということは、希望的観測ですが終息するのではないかと、来年の会議はこのような仕切り板が無い形でできるんじゃないかと私は思っています。前向きに考えましょう。

本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。短時間で活発な討議をお願いします。

坂給食センター所長：ありがとうございます。続きまして町田教育長よりごあいさつを申し上げます。

町田教育長：改めまして皆さんこんにちは。教育委員会教育長の町田香と申します。どうぞよろしくお祈ひします。永瀬委員長のおっしゃるように終息することになれば学校として万々歳ということで、是非そういうふうになって

欲しいと思っているところですが、今のところはまだまだ注意をしていかなければいけないということで、校長先生を中心に、万全の態勢で進めていっているというのが現状でございます。

本日はご多用の中、守谷市立学校給食センター運営員会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。皆様におかれましては。日頃から守谷の学校教育の推進、そして学校給食の安全な提供等について多大なるご理解・ご協力をいただいておりますことを心から御礼を申し上げます。給食センターにおいては、所長を中心に全職員が一丸となって子供たちのためにおいしい給食を作り、そして安心安全のうちに子供たちに食べていただくということに力を入れて頑張っているところです。そんな中で来年4月からは新しい給食センターができるということで、子供たちにとっては充実安定した学校給食の提供あるいは学校給食を食べることができるといふふうに思っております。守谷の教育の中に、また改めて注目をされるものができ上るんだらうと思います。と申しますのは、今週の月曜日に、県の教育委員さんが守谷を視察に参りました。先進的な学校経営を見たいということで。それから、11月15日は、文科省の本庁の財務課長さんが5人の専門家の方々と守谷に来ていただきました。狙いは、守谷で進めている専科教員、教科担任制です。この進め方をどうしていったらいいか参考となる意見を聞きたいということで、わざわざ私共の方においでをいただきました。私共からお願いしたわけではなく、名指しでお聞きしたいということでした。一昨年は萩生田光一文科大臣が守谷に視察に来るといふような光栄なこともありました。

そんなことで、守谷の教育はいろんなところから注目をされています。カリキュラムを変えて子供たちや先生方にゆとりのある形で学校運営ができるように、そんなことも進めています。守谷型カリマネと申しております。それから教科担任制ということで、理科と音楽と図工に関しては専門の先生が授業を持つということで、担任の先生方はその時間を自分の時間として研修ができる、こういう体制を取っているもの全県的に守谷だけです。全国的にも非常に稀有なケースではないかなと思っております。今年はGIGAスクール構想ということで、奇しくもコロナとの関係があったものですから、オンライン授業も積極的に進めた結果、これも全国的に注目を浴びて、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、茨城新聞などで取り上げていただきました。ここに校長先生方がたくさん来ていただいておりますが、皆さんのお子さんをお預かりして、大事なお子さんのために精一杯頑張るといふ気持ちで校長先生方も頑張らせていただいております。皆さまには、そういう守谷の教育の状況を理解していただいて、更にご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。今日は、お忙しいところありがとうございます。

誠に申し訳ありませんが、本日出張が入っております中座をさせていただきます。申し訳ありませんがよろしく願いいたします。

#### 4 委員及び職員紹介

坂給食センター所長：続きまして、新たな委員の方もいらっしゃいますので、自

己紹介をお願いしたいと思います。

(委員，職員自己紹介)

## 5 協議事項

### (協議事項) 会議録への発言者の記載について

坂給食センター所長：議事に入る前に，この運営委員会の会議録について，皆様にご協議いただきたいことがあります。当委員会の会議録は，市のホームページで公開しております。公開される本日の会議の会議録に，発言者の氏名を記載して良いかについて，ご協議いただきたいと思います。ここから，永瀬委員長に議長をお願いいたします。

永瀬委員長：ただ今事務局から説明がありましたとおり，公開する本日の会議の会議録につきまして，発言者の氏名を記載することの是非について協議をいたします。

坂給食センター所長：参考ですが，今まで全て発言者の記載をしております。特に支障がなければ記載させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

永瀬委員長：皆さん，それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声有り)

永瀬委員長：では発言者の氏名を記載することで決定いたします。

坂給食センター所長：それでは，会議録に発言者の氏名を記載させていただきます。引き続き議事進行をお願いします。

### (協議事項1) 学校給食センター事業について

永瀬委員長：学校給食センター事業についての協議に入ります。事務局から説明願います。

坂給食センター所長：学校給食センター事業について資料（報告）をご覧ください。

(別紙資料説明)

永瀬委員長：事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明について，ご質問等がありましたら，挙手願います。

(質疑等無し)

永瀬委員長：それでは，そのように進めてください。

### (協議事項2) アレルギー対応について

永瀬委員長：続きまして協議事項 2，アレルギー対応について，事務局から説明願います。

坂給食センター所長：こちらにつきましては，本日配布しました「守谷市の学校給食における安全・安心な食物アレルギー対応プラン」からご説明させていただきます。内容につきましては，栄養教諭の齊藤栄養教諭からご説明させていただきます。

齊藤栄養教諭：松ヶ丘小学校栄養教諭の齊藤と申します。私から学校給食のアレルギー対応についてご説明させていただきます。

(別紙資料説明)

永瀬委員長：事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明について，ご質問等がありましたら，挙手願います。

(質疑等無し)

永瀬委員長：では，そのように進めてください。

### (協議事項 3) 給食食材の放射性物質の測定について

永瀬委員長：続きまして，協議事項 3，給食食材の放射性物質の測定について，事務局から説明願います。

坂給食センター所長：協議事項 3，給食食材の放射性物質の測定についての説明をさせていただきます。給食食材の放射性物質の測定につきましては，平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による福島第一原発事故をきっかけとし，平成 24 年から，消費者庁の交付金を活用して行ってきました。

給食食材の検査結果ですが，平成 24 年から現在に至るまで，基準値を超える放射性物質は検出されたことはありません。

放射性物質が基準値を超えた食材につきましては，流通経路に乗りません。給食食材については，流通経路に乗っている食材が使用されており，安全性は担保されております。

市が検査を始めたきっかけは，市民に対しての不安を払しょくするためのものでありましたが，今後につきましては，ご説明したことや，また検査を始めてから 10 年が経過しており，市としての役割は終息したと思われることから，今年度をもって終了する方向で考えております。

報告は以上です。

永瀬委員長：事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明について，質問をお願いします。今年度で止めるということですが，皆さんどうでしょうか。

(意見等無し)

永瀬委員長：10年間問題なかったわけですから、それでよろしいですね。

(異議なし)

永瀬委員長：では、次の議題にいきましょう。

#### (協議事項4) 給食費について

永瀬委員長：続いて協議事項4，給食費について，事務局から説明願います。

坂給食センター所長：学校給食費につきましては，毎年一般会計からの支出が増え続けていることから，2年前の委員会において給食費の見直しのご協議をお願いしたいと依頼をし，同意を得られた経緯がございます。しかしながら，新型コロナウイルスの影響によりストップしているところであり，新型コロナウイルス感染症による影響は今もなお様々な業界に影響を与えております。

このような状況の中，保護者の負担や心情を考えると，給食費の値上げの協議につきましては，もう少し時期を見たいと思います。

しかしながら，昨年度も申し上げましたが，年々，物資は値上げしており，給食の質を落とすことなく提供していくと，市の財政負担は年々膨れ上がってしまうのは事実でありますので，状況の好転が明らかになってきましたら，給食費の見直しにつきまして再度ご提案させていただきたいと思いますので，その際は協議をお願いいたします。

事務局からは以上です。

永瀬委員長：事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明について，ご質問等がありましたら，お願いします。

樋口委員：守谷中学校PTAの樋口です。今回，給食費の話が出るだろうなと思ひまして，ごく一部ですが本部役員さんに給食について何か聞きたいことや要望はありますかと質問は投げかけていたのですが，給食費については値上げしても構わないというお父さん，お母さん方が多くいらっしゃいました。というのは，給食は無いと困るということです。今回，休みになった時，改めて実感しました。給食が無いというのはこんなにも大変なんだと。たかがお昼一食ですが，栄養バランスも考えられていて，適量で，温かいものが出てくる，こんなに給食の有難みをこの時期に感じたことはありませんでした。やはり，無くなってしまうたり，今よりおかずの数が少なくなってしまうというのが大変困ると。原材料費の物価が上がっているのは，皆さん実生活で実感されておりますことなので，皆さん致し方ないのではないかと。逆に，給食費を抑えるからおかずを一品減らしちゃうという方が困るというお話をいただいていたので…。原材料が上がっているとか，そういうことも加味すると給食費が上がるということは，皆さん納得していただけることなのかなと，協議をして感じたところです。

永瀬委員長：ありがとうございました。

多少高くなっても質は落とさないという意見ですね。皆さんどう思いますか。

坂給食センター所長：大変貴重なご意見ありがとうございます。市では，今給食

の質は落とさない方向で行っております。その分をどうしているかと申しますと、市の一般会計、いわゆる市民の皆さんの税金等から支出している状況です。令和3年度につきましては、予算ベースですが7千万程度は市の一般会計から支出をしているという状況で、県内でもかなり高い数字であります。今のところは一般会計からの支出でしのいでいるという状況です。この額がこれ以上大きくなるようでありまして給食の値上げを考えなくてはならなくなると思っておりますので、その際はご相談させていただきたいと思っております。

**永瀬委員長：**収納率はものすごく高くなっておりますが、県内とか、全国から見た比較はどうなの。

**坂給食センター所長：**収納率の資料が今手元に無いのですが、県内ではかなり高い方だったと記憶しております。

**永瀬委員長：**99.91%と書いてありますよ。そして、収納率が13校のうち10校が100%というのはすばらしいと思っております。

**坂給食センター所長：**こちらは学校の先生方のご努力が大きいのかなと考えております。

**永瀬委員長：**そのほかご意見はありませんか。

給食センターでは質の高い給食を続けていくと。そして、市の補助が、予算がどうしても足りないときは値上げもやむを得ないということですね。

#### (協議事項5) その他

**永瀬委員長：**それでは、その他ということで、皆さんから何かご意見はありませんか。

**鈴木委員：**御所ヶ丘中の鈴木です。いつもおいしい給食をありがとうございます。私は以前竜ヶ崎にいたのですが、竜ヶ崎は家庭的な味、守谷や専門的な味かなと思っております。コロナになり、保護者の方々の話を聞くと、やはり給食の有難さというのはありますし、大阪の方ではオンラインをやった時に、給食を食べさせるのに生徒を学校に呼んだら、それは感染の対策になるのかという声があったようですが、やはり食というのは大事ですし、保護者の負担を考えると給食というのは大事なポジションなんだなと思っております。給食センターが新しくなるということで、実は我々も楽しみにしているところがありますので、今後もよろしくお願いします。

**永瀬委員長：**ありがとうございました。そのほかありますか。

**吉田委員：**黒内小の吉田です。休校があつて、給食の有難さと大切さを本当に感じた一人です。一つ気になったのは、簡易な給食の例というのが資料にあります。感染対策はもちろん大事なんです。この品数では…。うちの子は小学校2年生なので、これでも大丈夫だと思うのですが、もっと上の学年になると…。もし今後、ステージが上がってしまつて、再開ガイドラインを参考にし簡易な給食になった場合には、品数はこのままですか、何かもうちょっと…。言うのは簡単なんです。品数はもうちょっと簡単に配れるものをもう一品増やすとか、そのような対応を…。そういう状況にならないのが一番なんです。なつた場合はどういうふうにされるかが気になりました。

**齊藤栄養教諭：**松ヶ丘小学校栄養教諭の齊藤です。実際に献立を立てているものです。簡易な給食につきましては、色々なご意見をいただいております。まず何よりも学校の配膳の大変さです。本当に時間をかけて、手間をかけて配膳しているところがございます。そちらをなるべく簡単にとということで、このような取組の例というのが文科省から示されました。それにのっとってまずやってみたというのが本音なところがございます。今、食材を扱っている業者さんも個包装のものなども大変増えておまして、次回同じようなことがもし起こった時は、色々な方にご相談させていただきながら、栄養教諭として新しい業者さんとも連絡を取りながら、足りないと感じさせないような給食を提供していきたいと考えていきたいと思っております。

**越智委員：**けやき台中の越智です。いつもおいしい給食をありがとうございます。今、ご質問があった簡易給食の件につきましても、学校のことを考えて、配膳の過程を配慮していただいております。実は、学校は給食センターさんに対応していただくことが多いので、学校行事とか、そういうことで給食をストップしたりとか……。短縮授業なので早めに持ってきてくださいとかをお願いすることもあるんですが、今度、センターが新しくなった時に、輸送的なメリットというのも色々なところにあると思うんですが……。具体的には、広くて車が出やすいとか。輸送に関してがご苦労されていると思うのですが、その辺はどうでしょうか。

**坂給食センター所長：**学校給食センターの坂です。輸送につきましてですが、現状ですが13校に対してトラック4台で対応しております。従いまして、どうしても融通が利かないところがあります。ただし、新センターになりますと、齊藤栄養教諭からお話がありましたが、今は小中学校が混ざったAブロック、Bブロックというふうになっているのですが、新センターでは中学校と小学校を分けるという方向で行いますので、例えば中学校全体で何かをやるということであれば、早めることは今よりやり易いのかなと思います。また、3ブロックにすることで調理時間も今より短縮できるので……。ただ、配送順でうまくできるか分かりませんが、調理時間は間違いなく短縮できると考えておりますので、今よりはご要望に応えられるようにしていきたいと考えております。

補足させていただきます。令和4年の4月当初につきましては、初めて3ブロック、また新センターでの運用ということなので、4月・5月につきましてはご勘弁いただけるとありがたいです。

**永瀬委員長：**了解しました。その他、ありませんか。

**樋口委員：**うちの子は、実は食物アレルギー対応の給食資料を提供していただいております。うちの子は牛乳と卵に凄いアレルギーがあって、小学校の頃から除去食という給食をいただいております。もちろん、それに伴ってこの献立表も隅々まで見えています。原材料は何が使われているか、全てチェックさせていただいているんです。他の子たちと除去食の子供は全く別メニューになるんですが、そのことについて子供がいやだなという気持ちになったら、皆と同じ給食を食べれないと引け目を感じていたらいやだなと思っていたんですが、実際に本人に聞いたところ、みんながそれはそれで理解



してきてくれて、逆にうちの子用の給食はこれだよって、周りのみんなが思いやりを持ってもらえるようなこともできているんだよって教えてもらったときに、給食をとおしてそういうこともできるんだなと思いました。除去食がある、食べれない子がいるというのも、教育に繋がっているのかなと思って、大変ありがたい制度だなといつも思っています。ありがとうございます。

**齊藤栄養教諭**：お答えさせていただきます。守谷中学校さんですかね、大変あたたかい学校なんだなと思いました。別メニューの提供というのは、茨城県内でもおそらく守谷市だけが提供してきた対応ですので、なるべくこういう良いところを新センターでも引き続き行えるよう努力していきたいと思います。

**永瀬委員長**：意見も出そろったようなので、これで本日の協議案件は終了とさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。

**坂給食センター所長**：では、以上をもちまして給食センター運営委員会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。